

創生を見据えた復幸を 次世代へ残す輝く郷づくり

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えのことと心からお喜びを申し上げます。すとともに平素からの町政全般にわたる温かいご支援とご協力に対して厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の流行語大賞は「ワンチーム」という言葉でありました。昨年、熊本県でも開催されたラグビーワールドカップで、日本は歴代最高位のベスト8の成績を残されたことは記憶に新しいところですが、「ワンチーム」の言葉の通り、まさにチーム一丸となって戦い抜く姿に私たちは多くの感動を覚えたところです。

また、昨年は統一地方選挙の年であり、甲佐町においては2月の町議会議員選挙、そして8月には町長選挙を経て議会も新議長のもとに新体制が確立され、また私にとつては4期目の町政運営がスタートした年でもありました。

一方で、毎年のように自然災害は頻発し、昨年も台風15号・19号が関東地方に大きな被害をもたらしたほか、8月の九州北部豪雨など激甚指定を受ける大きな災害となりました。1日も早い復旧・復興を願うばかりです。

そういう中で、熊本地震からはや4年目を迎えるに至り、その間、甲佐町においては、町民の皆様のご支援とご協力により共に前を向きながら震災からの復旧に全力で、その歩みを進めてきたところ

です。お陰様で生活再建も随分と進み、災害公営住宅52戸すべてが完成し、また公共土木施設の災害復旧工事も約90%が完了するまでに至り、今後は地方創生を見据えた様々な創造的復興の実現にシフトしながら事業を進めていくこととなります。

すでに復興事業のシンボルとなる3つの事業も、8月に待望の田口橋の改良工事が完成し、引き続き緑川右岸側の交差点改良工事にも着手されました。10月には、安津橋一帯の総合運動公園内にサッカー場2面が完成し、今後、テニスコートや野球場、ソフトボール場などの整備を順次行つてまいります。さらには11月には災害公営住宅、子育て支援住宅、都市防災公園を併設した「住まいの復興拠点施設」が落成式を迎えたところです。

また今年には、春に完成予定の井戸江狭キャンプ場に加えて、交流人口の拡大を目的にワークショップでのリノベーションを行つてきた旧西村民俗資料館の改修も完成いたします。ここではカフェや宿



甲佐町長 奥名 克美

泊施設を備えた町の新たな情報発信施設として今年夏のオープンを目指しているところです。

そのほか、町政4期目を預かるにあたっては今回も34項目の政策目標を掲げさせていただいたほか、今年からは新たなまちづくりの基本計画である「第7次町総合計画」の策定に向けた動きも始まります。こうした動きの中で、この甲佐町に住み続ける幸せ感を震災前以上に感じ取っていただけるような復興を成し遂

げるためにも町民の皆様との絆と町外の方からいただいた支援に感謝しながら、引き続き「ワンチーム」で職員一丸となり、また使命感をもって諸施策の実現に全力を尽くす覚悟です。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導と御支援の程をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして輝かしい1年となることを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

甲佐町の 復旧から復興へ

甲佐町議会議長

宮川 安明

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。
令和2年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、2月に本町議会議員の一般選挙が行われ、3月からは新議員を含む12名の議員によりまして、町民の皆様の負託にこたえられるよう、新たな気持ちをもって議会運営を行っています。

また、奥名町政の4期目が始まり、新たなマニフェストが示されましたが、議



会としましては、町執行部とともに災害からの早期完全復旧、そして復興へと全力で取り組めます。

また、農業を中心とした産業の復興や緑川を活かした観光政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みを推し進める必要があると考えております。

町民の皆様の声を大事にしていくとともに、町民の皆様のご代表であることを強く自覚し、日々研さんに努め、開かれた議会づくりを目指していきたいと思っております。

今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いたします。

町民の皆様にとりまして、実り多き年でありまして、ご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

伝統・文化を尊び新時代 を拓く「文教の町・甲佐」

甲佐町教育長

蔵田 勇治

さて、今年は東京オリンピック・パラリンピックの年です。教育分野では小学校において教科「英語」の導入などを含む新学習指導要領が完全実施となるなど、大きな変化の時を迎えています。我が国が提唱している未来社会のコンセプト「ソサエティ5.0」の時代がまさに始まるうとしています。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな未来社会「ソサエティ5.0」はAIと情報の社会と言われます。甲佐町の教育はこのような新しい時代の変化に遅れてはなりません。一方では古い伝統や文化、先人の知恵に学ぶ温故知新を大事にしながら、着実な歩みを進めていきたいものです。

年頭にあたり、本町の教育の更なる充実への決意を新たにすると共に、今後とも、町民の皆様との協働による地域教育づくりに、深いご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。



明けまして、おめでとうございます。
令和初の新春を寿ぎ謹んでご挨拶を申し上げます。また、日頃から学校教育、社会教育、体育・スポーツ活動、芸術文化の復興並びに文化財保護等、本町教育行政に温かいご理解とご支援、ご協力を頂いておりますことに衷心より感謝申し上げます。

本町では熊本地震・豪雨災害から四度目の新春を迎えましたが、昨午を振り返りますと、国内では子どもが犠牲になる事故や事件の多発、毎年のように見舞われるようになった豪雨や台風などの自然災害など、心痛む事が多かったように思います。令和2年が平穏であることを願うばかりです。